省スペースリモートI／O変換器 ***R8*** シリーズ		
取扱説明書	絶縁２点 熱電対入力カード	形 式 R8−TS2

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・熱電対入力カード .....1 台
・冷接点センサ .....2 個

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内に設置して下さい。
・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策（例：電源、入出力にノイズフィルタ、クランプフィルタの設置など）は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●取扱いについて

・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。
・本体側面のディップスイッチおよびロータリスイッチは、電源が遮断されたメンテナンス時のみ設定可能であり、通電時は操作しないで下さい。

●設置について

・屋内でご使用下さい。
・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が -10 ～ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

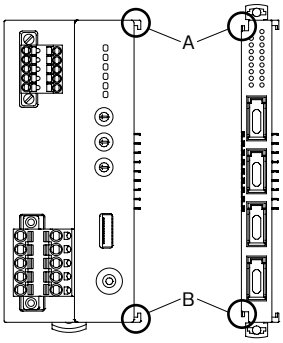
・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

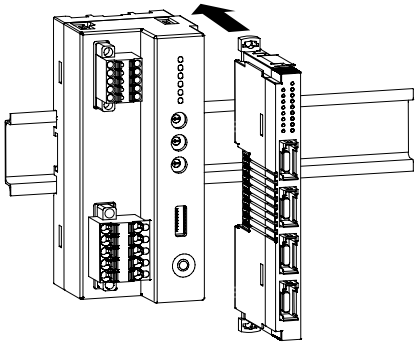
・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

取付方法

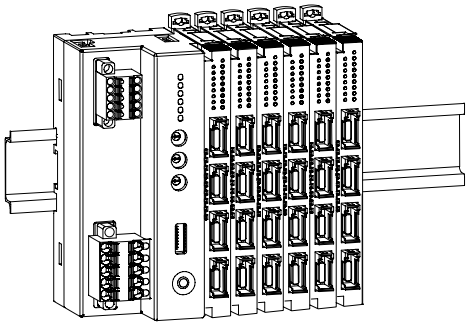
●入出力カード



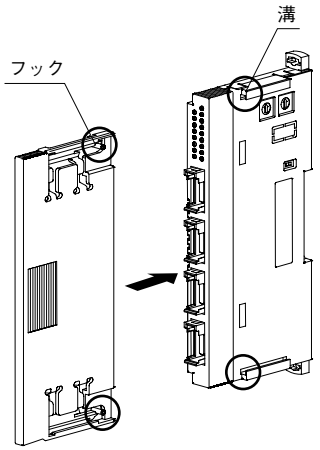
・入出力カードのスライダが閉じていることを確認し、各カード（ユニット）の凹凸（図のA、B）を合わすように、DINレールに対して垂直にまっすぐ差込みます。



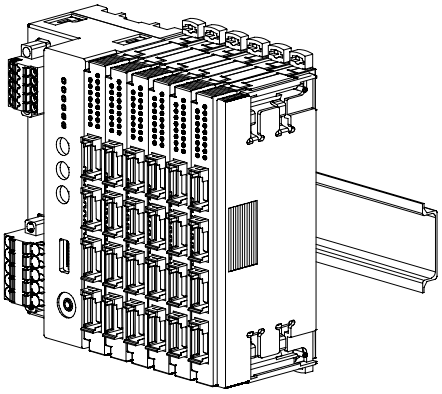
・入出力カードを追加する場合も同じようにして下さい。



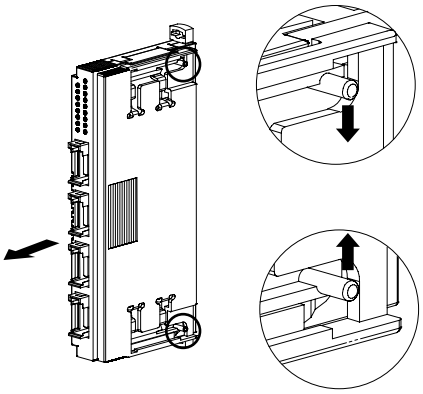
●エンドカバー



・接続した一番右端の入出力カードに、エンドカバーを装着します。
・カバー側のフックと入出力カード側の溝を合わせ、止まる位置までまっすぐ挿入します。

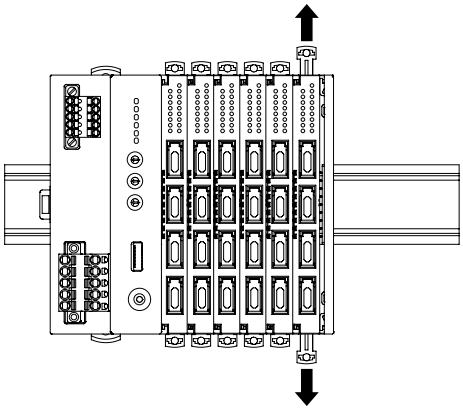


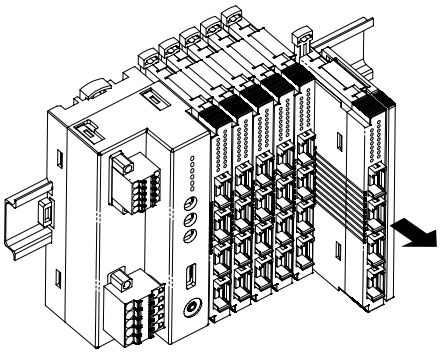
・取外す場合は、カバー側フックを内側に押しながら引抜きます。



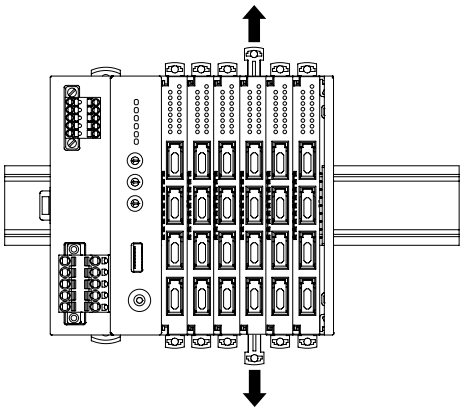
■取外方法

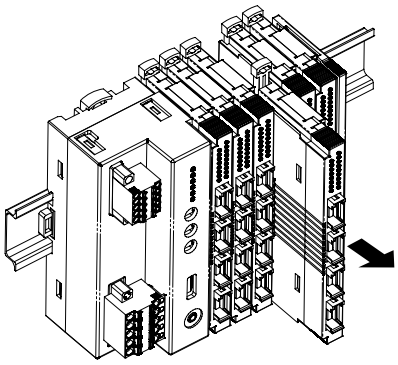
・取外したい入出力カードのスライダを外側へずらし、ロックを外した状態で手前にまっすぐ引抜きます。





・中間の入出力カードを取外す場合

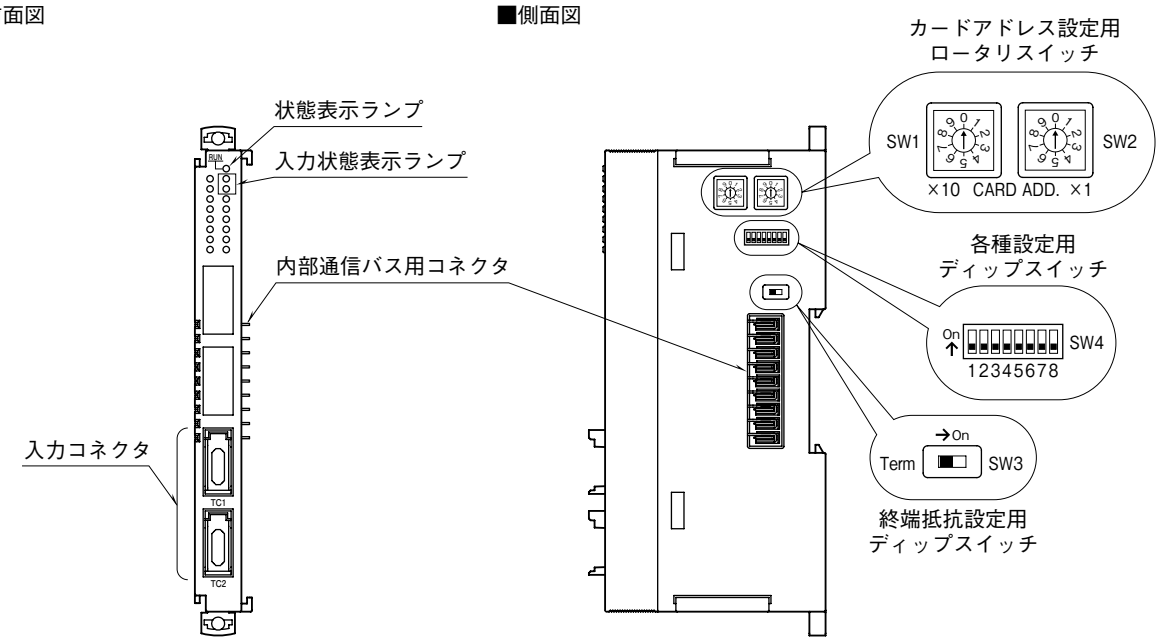




注1）内部通信バス用コネクタは先端がとがっているので、怪我をしないように注意して下さい。
注2）入出力カードのみの設置時は、入出力カードが横に動きやすい状態になります。落下等の恐れがある場合、エンドプレートを設置するようにして下さい。

各部の名称

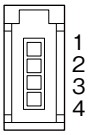
■前面図　　■側面図



■表示ランプ

名　称	ランプ動作	機器動作
状態表示ランプ	消灯	停止中
	緑色点灯	上位との通信が有効
	緑色点滅	コンフィギュレーション中
	赤色点灯	設定エラー
	赤色点滅	パラメータエラー
入力状態表示ランプ	消灯	入力データ範囲内
	赤色点滅	入力データ範囲外
	赤色点灯	バーンアウト発生

■入力コネクタ端子配列

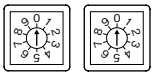


ピン番号	信号名	機　能
1	＋	熱電対(＋)
2	－	熱電対(－)
3	CJM	冷接点センサ
4	CJM	冷接点センサ

冷接点センサに極性はありません。

■カードアドレス設定（SW1、2）

カードアドレスはロータリスイッチにて設定します。
10の桁を左のロータリスイッチで、1の桁を右のロータリスイッチで設定します。カードアドレスは0～31まで使用可能です。(工場出荷時は0)



カードアドレス設定（×1）

カードアドレス設定（×10）

■動作モード設定

（＊）は工場出荷時の設定

●熱電対設定（SW4-1、2、3）

入力一括の設定になります。
入力ごとの設定は、PCにて行って下さい。

熱電対	SW4		
	1	2	3
K(CA)(＊)	OFF	OFF	OFF
E(CRC)	ON	OFF	OFF
J(IC)	OFF	ON	OFF
T(CC)	ON	ON	OFF
B(RH)	OFF	OFF	ON
R	ON	OFF	ON
S	OFF	ON	ON
C(WRe 5-26)	ON	ON	ON

N、U、L、P（Platinel Ⅱ）、PR熱電対については、PCからの設定のみとなります。

●バーンアウト設定（SW4-7）

バーンアウト	SW4-7
上方(＊)	OFF
下方	ON

●コンフィギュレーションモード設定（SW4-8）

コンフィギュレーションモード	SW4-8
ディップスイッチ(＊)	OFF
PC	ON

注）SW4-4～6は未使用のため、必ず“OFF”にして下さい。

■終端抵抗設定（SW3）

終端抵抗	SW3
無効(＊)	OFF
有効	ON

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。
コンフィギュレータソフトウェア（形式：R8CFG）の使用方法については、R8CFG の取扱説明書をご覧下さい。

■チャネル個別設定

項目	設定範囲	初期値
センサの種類	K（CA） E（CRC） J（IC） T（CC） B（RH） R S C（WRe 5-26） N U L P（Platinel Ⅱ） （PR） 使用しない	K（CA）
ゼロ入力値	熱電対の種類による。	0.00（degC）
フル入力値設定	熱電対の種類による。	0.00（degC）
ゼロ微調整	-320.00～+320.00（%）	0.00（%）
ゲイン微調整	-3.2000～+3.2000	1.0000
ゼロスケーリング値	-32000～+32000	0
フルスケーリング値	-32000～+32000	10000

■チャネル一括設定

項目	設定範囲	初期値
バーンアウト	上方／下方	上方
温度単位	degC／degF／K	degC
冷接点補償	ON／OFF	ON
リミット	-5～+105%／ ゼロ / フルスケーリング値	-5～+105%
内部通信バス通信断検出時間	0.0～99.9（sec）	1.0（sec）
コンフィギュレーションモード	ディップスイッチ（OFF） PC（ON）	ディップスイッチ（OFF）

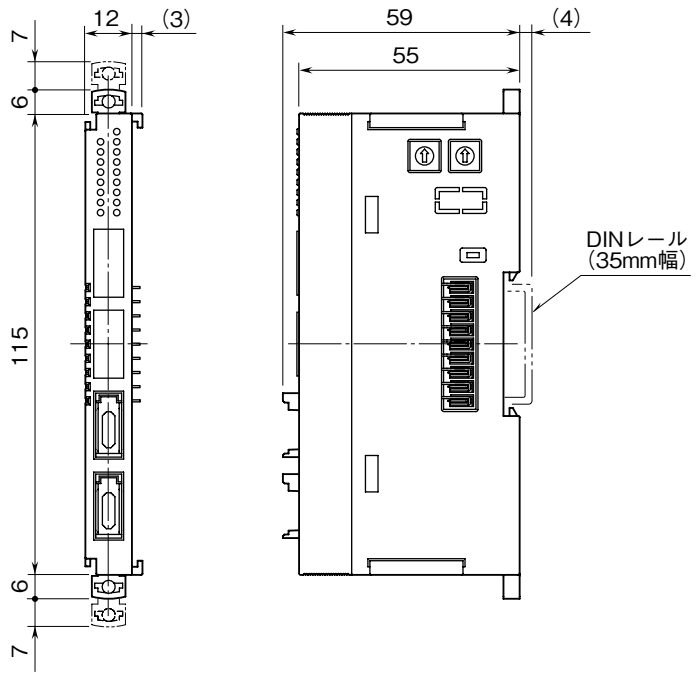
注）センサの種類をコンフィギュレータで設定するためには、SW4-8 を ON に設定して下さい。コンフィギュレータ設定は、電源通信ユニットにより行います。

接　続

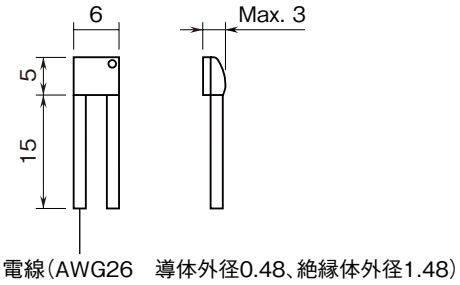
各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）

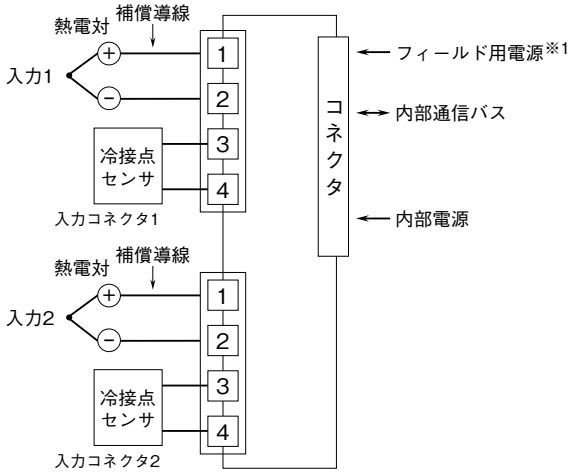
■本体



■冷接点センサ（CJM2個）



端子接続図



※1、フィールド用電源は使用しません。

配　線

■e-CON

本体側コネクタ：XN2D-1474-S002（オムロン製）
推奨ケーブル側コネクタ：XN2A-1470（オムロン製）＊1
適用電線：0.08 ～ 0.5 mm^2（AWG28 ～ AWG20）
ただし、電線被覆外径がϕ 1.5 以下であること

＊1、本器には付属しません。詳細は、メーカカタログをご参照下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。